

会議議事録（要旨）

会議の名称	平成30年度 第1回東広島市男女共同参画推進審議会
開催日時	平成30年11月6日（火）10:00～11:30
開催場所	東広島市役所本館3階 会議室303
出席委員	別紙（委員名簿）
欠席委員	小坂副会長、小勝負委員、坂越委員
事務局職員	生活環境部 天神山部長、人権男女共同参画課 佐川課長、柄崎係長、藤原主任、森田主任
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ol style="list-style-type: none"> 議題1 東広島市審議会等委員への女性登用状況について 議題2 第2次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン）第2期実施計画の取組状況について 議題3 男女共同参画推進事業の取組状況について 議題4 第3次東広島市男女共同参画推進計画策定に係る市民意識調査等について 3 その他 4 閉会
配付資料	<p>資料1-1 審議会等委員への女性登用状況について</p> <p>資料1-2 審議会等委員への女性登用状況</p> <p>資料2 きらきらプラン 取組状況調査表</p> <p>資料3 平成30年度男女共同参画推進事業の取組状況</p> <p>資料4-1 東広島市 男女共同参画に関する市民意識調査（案）</p> <p>資料4-2 東広島市 男女共同参画に関する事業所アンケート調査（案）</p> <p>資料4-3 東広島市市民意識調査及び事業所アンケートの質問設定について</p> <p>資料5 東広島市男女共同参画推進審議会スケジュール（案）</p> <p>議題4 追加資料 男女共同参画に関する意識調査概要</p> <p>その他 次第、委員名簿、座席表、東広島市男女共同参画推進審議会規則</p>

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・出席者の確認 ・部長挨拶 ・新任委員紹介（松尾委員）
松尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局、（株）ぎょうせい出席者紹介 ・配付資料の確認
坂田会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・議題1 東広島市審議会等委員への女性登用状況について、説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1-1、1-2説明
坂田会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・女性委員のいない審議会数を来年度までにゼロにしないといけないので、色々な働きかけが必要。例えば、総務部は女性のいない審議会数が2つあるあるが、ゼロにする見通しは立っているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・充て職になっているものがあるため、厳しいところです。ゼロに向け働きかけはしていきますが、審議会の中には、その分野の人を探してもほぼ男性しかいないといった現状があるものもあり、厳しい面もあります。
坂田会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・議題2 第2次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン）第2期実施計画の取組状況について、説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2説明
坂田会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見などあれば伺いたい。
廣川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・各目標値は誰がどうやって決めるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・各課が実状を踏まえて決めています。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの担当課が、男女共同参画に関係する事業の目標値を設定します。
廣川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・人数はどうやって決めているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の設定方法については、それぞれの事業によって異なります。 ・例えばNo.1の講演会の人数は、職員から何割、一般からは何割出席してもらいたいという思いで数値を設定する、といったイメージです。

議事内容（要旨）	
越智委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の計画策定時には、目標値を具体的な値に変えていくと前回の審議会で伺った。「実施した」「していない」が指標となると、一度でも行われると100%達成となる。しかし、「行ったこと」でなく、「行った結果」が大事。また、窓口を開設したといっても、人数や内容が分からないので、工夫が必要だと思う。 ・ 目標を100%達成しないとA判定にならないのは、厳しいと思う。90%くらいでも良いと思う。また目標値の設定が事業により異なり、目標も「実施／未実施」が多いように感じる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 越智委員の意見のとおりです。目標を達成して終わりではなく、効果測定までできるようにしなければいけないと事務局も考えています。 ・ 次回の計画では効果が見えるような形での目標値設定にしたいと思います。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業数が増えているとのことであったが、多くの事業で相互の関連があると思う。似たような事業をそれぞれで評価するのではなく、それぞれの事業で足りないところを補い合って、どのような効果があったかという視点で評価してみてもどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期計画策定に向けて、事業間のつながりを含めた測定ができないか検討してみます。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携することで効果が上がった、という評価もできると思った。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の計画に反映させたいと思います。
坂田会長（議事進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他に意見などあったら伺いたい。
竹井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「No.39 保育サービスの充実」で、待機児童ゼロに向けて取組をされていて、目標値は待機児童数0とのことだった。具体的にどんな取組をしているのか知りたい。 ・ 気になる点として、保育士不足があげられる。これは働きやすい環境、賃金などが影響すると思う。保育士の働く状況は厳しいように感じる。
松尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育サービスについて、実状を説明すると、本市では、待機児童対策本部を立ち上げ、市をあげて対策を行っている。県内でも一、二を争う待機児童が多い状況。 ・ まず施設など、ハードの問題があるが、民間の保育園を誘致し、数は増えている。 ・ 一番のネックは保育士の確保。3歳までの子ども、特に0歳の低年齢児の保育ニーズが増えている。0歳児は3人に1人の保育士が必要であるため、他の年齢よりも多くの保育士を確保しなければならず、苦慮している。潜在保育士を掘り起こして、働いてもらえる方法を考えている。 ・ 色々な対策を講じているが、特効薬がないのが現状。しかし、待機児童が多い街中近辺で児童の受入れを増やしているので、待機児童数は減らせると思っている。

議事内容（要旨）	
坂田会長（議事進行）	・潜在保育士の掘り起こしについて。看護師は、以前看護師不足などあったが、免許を持っていて、その仕事をされていない方の登録制度ができ、復職への働きかけを行っている。そういったノウハウを活用できたらよいと思う。
松尾委員	・広島県も保育資格保有者の把握を行っている。保育士は毎年更新の手続きがないため、住所変更などされた人の追跡ができない部分もあるが、分かる範囲で保育士バンクのように、登録を呼び掛けている。市でも名簿をもらって行っているが、難しい状況だ。
坂田会長（議事進行）	・賃金など、根本的な対策が必要かもしれない。
竹井委員	・民営化された影響はあるのだろうか。入所の希望を出しても、希望どおりは難しいだろうと思う。
松尾委員	・保育料は公立・私立問わず、所得に応じて一律になっているため、公立に希望が偏るということはない。しかし、新しい施設に集中する傾向はある。
竹井委員	・保育所の誘致などはあるのか。
松尾委員	・公立の古い保育所を建て替える時は、土地は市で都合して、民間に建ててもらおう形になっている。補助制度もある。
坂田会長（議事進行）	・じっくり取り組む必要がある。 ・他になれば、議題3 男女共同参画推進事業の取組状況について、説明願いたい。
事務局	・資料3 説明
坂田会長（議事進行）	・何か質問や意見などあれば伺いたい。
藤本委員	・地域の実態を見ると、特に一人暮らしの高齢男性は、会話する相手がなくて、孤独に耐えながら生活している姿をよく見聞きする。男女共同参画は女性を対象とした事業はあると思うが、介護分野など、男女共同参画の視点で、こういった男性への働き掛けや対策があれば良いと思う。
坂田会長（議事進行）	・そういった点は大事かもしれない。1人暮らしの男性が料理や家事などができると、健康の面からでもよい。習う機会、集まる場があればネットワークができてよい。
事務局	・地域センターでの男女共同参画講座として、男性の料理教室等を行っています。地域センターや生涯学習センターで行う講座は、比較的年齢の高い男性が参加されています。 ・これまで子育て世代の男性の家事育児参画に焦点を当ててきましたが、藤本委員の話聞き、高齢男性の視点も必要なことに気付かされました。

議事内容（要旨）	
坂田会長（議事進行）	・他に意見などないようなので、議題4 第3次東広島市男女共同参画推進計画策定に係る市民意識調査等について説明を願いたい。
事務局	・追加資料説明
（株）ぎょうせい担当者	・資料4-1、4-2説明
事務局	・資料4-3説明
坂田会長（議事進行）	・何か質問や意見などあれば伺いたい。 ・アンケートの内容について、意見を言えるのは今回が最後か。
事務局	・最後です。
	アンケート項目に関する協議
坂田会長（議事進行）	・予定の議事は終了したが、議題に関わらず意見があれば伺いたい。 ・最後に事務局からの連絡事項等あれば説明願いたい。
事務局	・資料5スケジュール説明
坂田会長（議事進行）	・閉会
事務局	・挨拶